

やまばと通信

多摩市立図書館 情報誌 179号

夏に秋(あき)たら
図書館へ!!



主な記事

1P 「秋色おはなし会のご案内」

2P 「乳幼児へのよみきかせ講座」

「渡辺鉄太さん講演会」

心に緑を育みながら

3P 「秋の夜長にぴったりな本」

4P 「ボランティアさんへ」

「語りかけ事業への」寄付

ありがとうございます

「表紙イラスト 大募集!」

「秋色おはなし会」

IN 永山フェスティバル

今年も、ボランティアの皆さんと一緒に

「秋色おはなし会」を行ないます!

第1部は 小さいお子さん向けに、わらべうたや
布あそび、特大絵本の読み聞かせなど。

第2部は 昔話などのおはなし(語り)を中心に、

読み聞かせや本の紹介、手あそびなども取り入れた
じっくり聞きたいおはなし会です。

ゆかいなおはなしや、ドキドキするおはなしが
いっぱいです。

ぜひ、ご家族でお出かけください。

【日時】9月26日(土) 午前11時〜午後12時

第1部 午前11時〜

第2部 午前11時30分〜

※ 第1部は赤ちゃんから3歳位までの
お子さん向けです。第2部は幼児から
大人の方まで、どなたでもどうぞ

【会場】ヘルプ永山4階 視聴覚室

(永山図書館の上階)

【事前申込】不要 直接会場にお越しください

【問い合わせ】多摩市立図書館・本館 児童サービ担当

電話 下記参照 平日9時半〜17時受付
詳しくは、館内のポスター・チラシで!

多摩市立図書館

〒206-0033 多摩市落合2-29

(電話)042-373-7955

(FAX)042-375-9459

図書館ホームページアドレス <http://www.library.tama.tokyo.jp/>

携帯電話アドレス <http://www.library.tama.tokyo.jp/i/>

2009年 9月 発行



乳幼児へのよみきかせ

始めませんか？ポランテア

「わらべうた」を中心に

昨年度大好評だった「連続よみきかせ講座」の講師・石川道子先生をお招きし、赤ちゃんや、特に小さいお子さんへの読み聞かせについて、「わらべうた」を中心に話をさせていただきます。受講後は、近年大賑わいの「あかちゃんとおかあさんのおはなし会」などで成果を発揮していませんか？

【日時】 10月22日・29日・

11月5日(木)

各日 10時～12時

【場所】 図書館本館・講座室

【対象】 市民文庫・お話会等で読み聞かせをして

いる方 及び読み聞かせに関心のある方

(市内在住・在勤・在学及び活動の拠点多摩市の方優先)

多摩市の方優先)

【講師】 石川道子氏 (二〇〇〇さぎ文庫主宰)

【定員】 40人 (全3回出席可能な方)

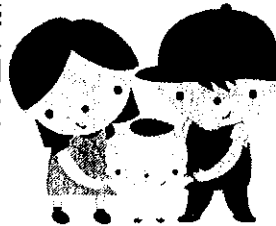
【保育】 2歳以上就学前まで、お菓子代200円

【申込・問合せ】 9月14日(月)～定員到達まで

保育の申込は 9月30日(水)まで

多摩市立図書館・本館 講座担当

電話：一面参照 平日9時半～17時



渡辺鉄太さん講演会

「心に緑を育みながら」

多摩市民でもあった児童文学者の渡辺茂男さんは、『エルマーのぼうげん』など優れた海外の児童文学の紹介や、「くまたくんの絵本」シリーズをはじめとする、多くの創作を残し、二〇〇六年秋に永眠されました。

翌春に出版された『心に緑の種をまく』絵本のたのしみ』は一九九七年新潮社刊の再版(文庫化)ですが、ご長男の渡辺鉄太さんによる付記を加え、茂男さんの児童文学への思いをさらに強く伝えていきます。緑豊かなこの多摩の地で、自身も3人の息子さんと一緒に絵本を楽しみ、成長を見守りながら創作を続けた渡辺茂男さん。人間の成長を一本の木に例え、「心に緑の種をま」き、「育む」事について、息子である鉄太さんの視点からお話しいただき、皆さんとともに語りあいたいと思います。

【日時】 10月24日(土) 14時～16時

【場所】 図書館本館・講座室

【定員】 50人 ※保育はありません

【申込・問合せ】 10月5日(木)～

定員到達まで

多摩市立図書館・本館

電話：一面参照 平日9時半～17時

渡辺茂男さんのことば

ニュータウンの町造りをした人びとの中に、自然を愛する人たちもいたことが幸せでした。残された自然は育ちつづけ、新しく植樹され種をまかれたところには、緑がよみがえりました。

『心に緑の種をまく』内

「多摩で育った子どもたち」から

市民企画展示(本館)

渡辺茂男展 10月から

渡辺茂男さんの著作を集め
展示・貸出しします。

『優しい音楽』 瀬尾まいこ著 双葉社 2005

朝の駅で見知らぬ女の子にじっと見つめられていた僕。2人はやがて付き合うようになるけれど、彼女は家族に僕を会わせたくない。そこにはある理由が...

読んでいるうちに主人公の優しさが胸に沁みて、とても切なくなりませう。

登場人物それぞれが皆、周囲を思いやる気持ちにあふれており、思わずほろりとしてしまう、そんな心暖まるストーリーです。

ぎすぎすした世の中で、ほんわかしたい時間におすすめの1冊です。

『プリンセス・トヨトミ』

万城目学著 文藝春秋 2009

大阪を舞台として、全く関係ないような二つの物語が徐々に繋がっていきます。

そんな中、隠れていた大阪の驚きの歴史が明らかになっていきます。

どこまでが現実で、どこからがフィクションなのか分からなくなってしまうほど奇想天外な万城目ワールド。とても具体的な描写なので、景色がテンポよく映像のように浮かんできます。

目に見えないものを大切にしている主人公の熱い気持ち、そして親子の強い絆に感動させられる作品です。

秋の夜長にぴったりの本を紹介します！



『パリのおばあさんの物語』

スージー・モルゲンステル著
千倉書房 2008

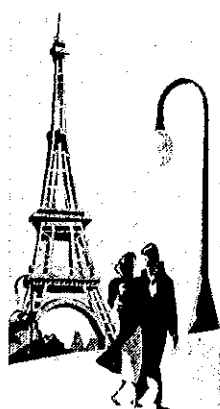
この物語の主人公は、ユダヤ人として家族と共にフランスへ移民してきた、一人のおばあさんです。

人生にはつらい事や孤独な事がたくさんありますが、おばあさんは常に前向きに、そして明るく真摯に受け止めながら生きていきます。人は誰もが平等に若くて楽しい時間があると同時に、誰もが定めとして「古い」ていく事は避けられないという現実もあります。

誰にもやがて訪れる「古い」をどう受け止めていくかという事も、この本の中で彼女は教えてくれます。

人はそれぞれ違う人生を歩みます。二つとして同じ人生はありません。老いた時に自分の人生を振り返って、「どう生きたか」というのが人間としての価値ともいえるのではないのでしょうか。

この本は若い人から人生経験豊富な年配の人まで、幅広く自分の人生をじっくり考えていくのにぴったりの絵本です。



『オリンピックの身代金』 奥田英朗著 角川書店 2008 **ご投稿ありがとうございました！**

オリンピック開催に向けた人々の期待や誇り、そしてうらやましいくらいの国家としての一体感。

そう、本書は昭和39年の東京オリンピックを舞台に描かれたものである。

しかしその裏側にある大きな地域格差が犯行を生んでしまう。

さすが図書館で「予約者多数」の本だけあって、読み応えあり！！の一冊です。（貝取在住 S様）

『魔女のひつぎ』(青い鳥文庫Kシリーズ) ゴーゴリ ほか著 講談社 1996

文豪ゴーゴリやモーパッサン、SFの巨匠H=G=ウェルズなど、子供向きに出版された本ながら、「へ～、こんな作品書いてたんだ」と文学好きの方には驚きの詰め合わせのような本。なかでも表題作の「魔女のひつぎ」は「妖婆 死棺の呪い」というおどろおどろしい題名のロシアホラー映画？の原作で、原題は「ヴィー」といい、1835年にゴーゴリが発表した「ミルゴード」の第3話です。魔女に取り憑かれた絶世の死美女と神学生の戦いを描いたロマンチックで幻想的な作品です。（多摩市在勤 K様）

市民ボランティアさんにインタビュー!



平成15年の子供読書の日から始まった「あかちゃんとおかあさんのおはなし会」で、発足当時からわらべうたを伝えてくださっている、市民ボランティアの佐藤さんと城所さんにお話しを伺いました。



城所さん



佐藤さん

おはなし会への参加が多いため、対象年齢を分けて月2回開催しています。第1水曜日は1才未満、第3水曜日は1才以上のお子さん向け。時間は午前11時からです。

☆どんなきっかけで、この活動を始められたのですか?
佐藤・城所:「絵本かたりかけ事業」の一環で、わらべうたの研修を受講しました。その後、図書館から赤ちゃんと向けのサービスタという話があり、わらべうたを取り入れたおはなし会を始めることになりました。

☆活動を続ける中で、嬉しかったことはなんですか?
佐藤:自分の子育ての時には赤ちゃんとのお話会がなく、こんな会があったらどんなにいいだろうと思っていました。だから今、自分自身楽しみながらやっています。

城所:本や映像の中ではなく、実際に赤ちゃんと接することができて、嬉しいです。

☆「わらべうた」の役割や影響を教えてください

佐藤・城所:メロディーが単純で、赤ちゃんの目を見て語りかけるので、お母さんとの信頼関係が生まれます。肌と肌をつけることで赤ちゃんと安心を与え、生活のあらゆる場面でこのわらべうたが活躍すると思います。

素敵な笑顔で質問に答えてくださった、佐藤さん、城所さん、ありがとうございました。これからもお母さんと赤ちゃんとに安らぎの時間を作ってくださいね!



絵本かたりかけ事業に寄付をいただきありがとうございます!

図書館では、絵本をとおして親子のふれあいが深まることを目的に、赤ちゃんと絵本をプレゼントしています。健康センターで行われる3、4か月児健康診査に、市民ボランティアの方々と伺い、絵本とブックリストなどをかわいい布のバッグに入れてお渡ししています。

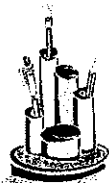
今回、この絵本かたりかけ事業に、《東京多摩グリーンロータリークラブ》様より、寄付をいただきました。

この寄付金で絵本を入れるバッグ84枚(約ひと月分、2回の健診でお渡しできる数)を購入することができました。本当にありがとうございました。

図書館は今後も、親子が心豊かになる事業を推進していきます。またこのバッグは、約400円でひとりの赤ちゃんと贈ることができます。絵本かたりかけ事業への寄付をお考えいただける方は、どうぞ図書館本館・児童サービスタ担当までお問い合わせください。

表紙イラスト 大募集!

図書館では、この「やまばと通信」がみなさまに親しみを持っていただけるような紙面作りを目指しています。そこで!次号から、表紙を飾るイラストを募集します。もちろん、プロ・アマ、大人・子供を問いませんので、奮って応募ください。



【応募規定】

原稿(イラスト) サイズ: 20cm x 13cm
ケント紙等の白地で表面が平らな紙に、黒の単色(鉛筆不可)で描かれたオリジナル作品

【募集テーマ】

季節感のあるもの・多摩市の風物等

【応募方法】

応募作品に併せて、お名前・ご連絡先を記入し、最寄の図書館にお持ちください

【募集期間】

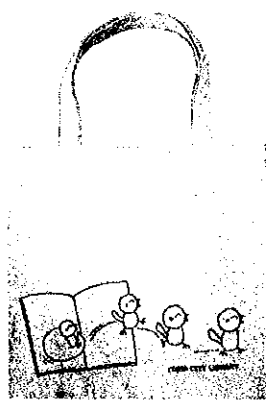
各発行月(奇数月)の前々月、末日まで。

応募いただいた原稿の中から、各号のイメージで選ばせていただきます

【注意事項】

著作権は多摩市立図書館に帰属します

イラストの配置イメージについては、今号の表紙をご覧ください。また、応募いただいた原稿は、掲載の有無に関わらずお返しいたしませんのでご了承ください。



寄付金で購入したバッグ

かたりかけ事業における市民ボランティアさんの活躍は、次号以降にご紹介します!